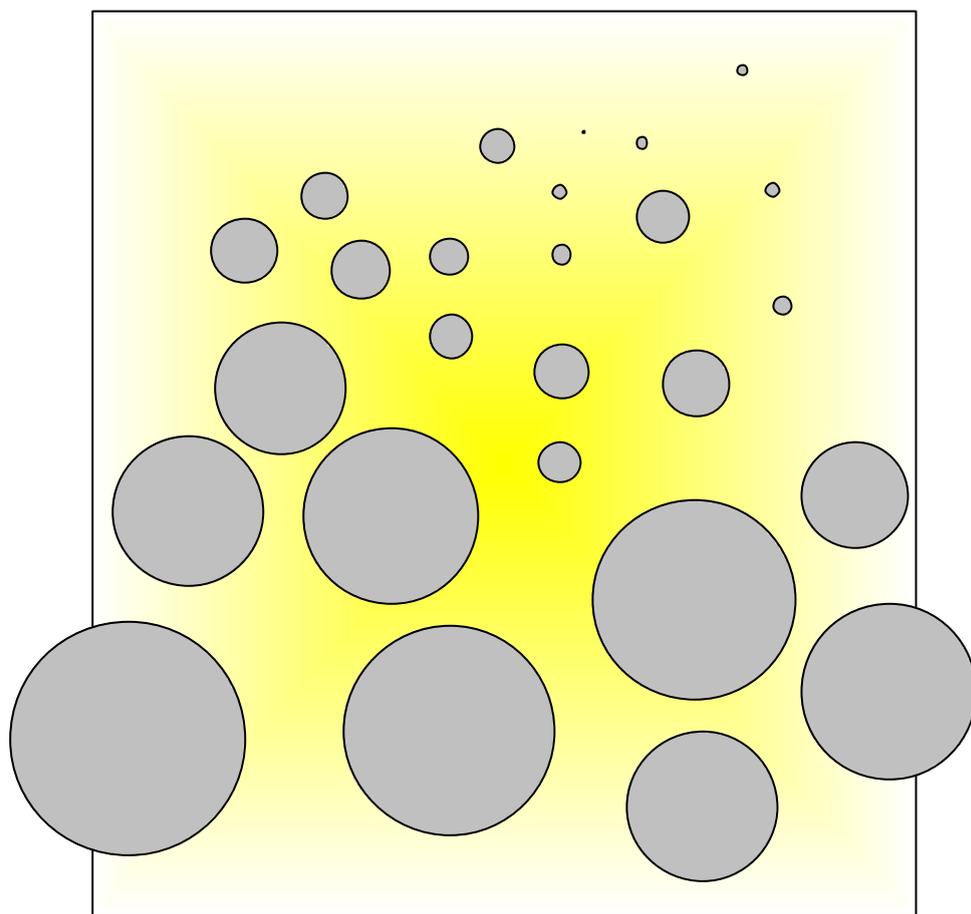


京の子ども、夢・未来

未来デザイン・応援プラン

府立高校改革推進計画（案）



平成14年12月
京都府教育委員会

目 次

はじめに	・・・	1
第1章 推進計画の基本的な考え方		
1 府立高校の教育の在り方	・・・	4
2 府立高校改革の基本的な方向性	・・・	6
3 府立高校改革の全体像と施策の展開	・・・	8
第2章 新しい多様で柔軟な教育システムの構築		
1 普通科の特色づくりと多様化	・・・	10
2 新しい時代に対応した専門学科の充実	・・・	11
3 総合学科の今後の展開	・・・	12
4 新しいタイプの単位制高校の設置	・・・	14
5 中高一貫教育の導入	・・・	16
第3章 創意工夫を生かした教育活動の展開		
1 特色ある教育課程と教育内容の工夫	・・・	18
2 教育内容や教育方法の充実	・・・	19
3 進路希望の実現に向けた個に応じた指導の推進	・・・	21
4 府民の信頼を高める学校づくり	・・・	22
第4章 主体的な選択ができる入学者選抜制度への改善		
1 通学区域の改善	・・・	26
2 新しい入学者選抜方法	・・・	28
資料編	・・・	31

はじめに

推進計画の趣旨

今、府立高校は、国際化、情報化、高齢化などの社会の変化、生徒の個性化・多様化の進行、生徒減少に伴う学校の小規模化など多くの課題に直面しています。こうした課題に対応するため、府立高校においては、これまで以上に多様で柔軟な教育システムを築くとともに、高校としての適正な規模や配置を実現することが求められています。

また、21世紀社会は、高度化、複雑化した社会をたくましく生き抜き、様々な分野において主体的、創造的に活躍する人間を求めています。そのため各府立高校では、創意工夫を生かした教育活動を展開して、生徒一人一人の個性と豊かな人間性をはぐくみ、自らの生き方や進路を主体的に切り開くことができる能力や態度を育成することが重要となっています。

府立高校改革推進計画は、こうした課題や社会の要請にこたえるため、今後実施する府立高校改革の基本的な考え方や施策の骨組みを示したものです。

推進計画策定までの経緯

平成12年5月、京都府教育委員会は、今後の府立学校の在り方や改善方策について意見を求めるため、「府立学校の在り方懇話会」を設置しました。懇話会は、以後約2年間の協議を経て、平成14年1月に最終の「まとめ」を発表しました。

また、京都府産業教育審議会においても、平成14年2月に、近年の我が国の情報化の急速な進展への対応について「提言」を発表しました。

京都府教育委員会では、こうした「まとめ」や「提言」などを踏まえ、府立高校の改革の観点を「中学生から選ばれる高校づくり・希望する高校を選べるシステムづくり」及び「活力ある多様な教育活動が展開できる学校規模の適正化・適正配置」としてこれまで様々な検討を重ねてきました。今回の計画は、前者の観点に立った内容を第一部として策定したものです。

推進計画の構成と計画の期間

この計画は、府民の期待にこたえる「新しい多様で柔軟な教育システムの構築」、「創意工夫を生かした教育活動の展開」、「主体的な選択ができる入学者選抜制度への改善」の3項目から構成されています。

なお、この計画に記された施策の実施に関する具体的な計画については、今後10年程度の間複数回に分けて別途策定していくこととしています。

また、「活力ある多様な教育活動が展開できる学校規模の適正化・適正配置」を観点とした計画については、引き続き検討を進め、改めて公表する予定です。